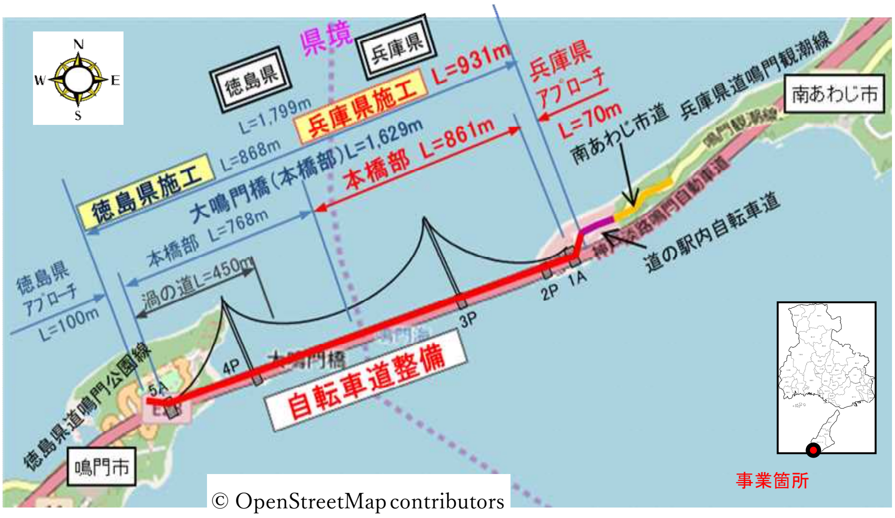
記　者　発　表　（資料配付）				
月／日（曜日）	担　当　課　名	電　　話	発 表 者	その他配布先
10 月 10 日(火) 10:00	土木部 道路企画課 (事業推進班)	078-362-9256 (ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ)	課長　草野　真一 (班長　井口　智貴)	淡路県民局

大鳴門橋自転車道設置工事　委託契約の締結について

兵庫県は徳島県と連携し、大鳴門橋の桁下空間を活用した「大鳴門橋自転車道」整備を進めていきます。自転車道整備は、大鳴門橋の桁下という限られた空間の中での工事となります。そのため、兵庫県は本州四国連絡高速道路株式会社（以下、「本四高速(株)」。）と令和 5 年 10 月 10 日付けで大鳴門橋自転車道設置工事の委託契約を締結しました。

なお、同日付けで、徳島県も本四高速(株)と委託契約を締結することとしており、令和 9 年度の完成を目指し、本四高速(株)によって、一体的に整備を進めていきます。引き続き徳島県と検討していき、よりよい管理運営ができるよう努めてまいります。



【大鳴門橋自転車道位置図】

【自転車道設置イメージ断面図】

期待される効果

【サイクリストの受入環境の整備】

○ 大鳴門橋自転車道は、四国側から淡路島への自転車走行のゲートウェイとなり、淡路島内を一周するサイクリングコース、「アワイチ」の更なる発展が期待されます。

○ 瀬戸内海を自転車にて一周するルート「セトイチ」の一環としての位置付けも可能となり、広域的なサイクルルートの形成、広域的なサイクルツーリズムの実現が期待されます。

【アワイチ(150km)】

【セトイチ(500km)イメージ】

・淡路島では、島の外周を右回りに一周する約150kmのサイクリングコース「アワイチ」が、サイクリストに高い人気となっている。
・「アワイチ」は、変化に富んだコースに加え、穏やかな瀬戸内の自然や景観、多くの観光スポットを楽しむことができ、サイクリストの聖地としての十分なポテンシャルを有している。

【渦潮観光の強化】

○ 大鳴門橋自転車道の整備により、世界遺産登録に向けた活動が進められている「鳴門の渦潮」の上空を自転車や歩行によって、兵庫・徳島両県を跨いで通行することが可能となり、渦潮観光の一大拠点となります。

【鳴門海峡の渦潮】

【自転車道から渦潮を展望】

【淡路地域の活性化・観光消費の増加】

○ 大鳴門橋自転車道の想定利用者数はサイクリスト９万台／年、一般観光客(徒歩・レンタサイクル)35万人であり、国内・海外からのサイクリストが本自転車道を利用することにより、淡路地域への往来、観光消費の増加が期待されます。（サイクリストの観光消費額：9.4億円/年増加見込み）

周辺地域の取組

【道の駅「うずしお」施設のリニューアル事業】

○ 南あわじ市において、道の駅「うずしお」施設のリニューアル事業、駐車場の再整備等を実施中。

○ 令和５年３月には、周辺地域の交通拠点となり、観光周遊を促進する施設、うずまちテラスがオープンしました。

○ これらの周辺整備の取組と併せて自転車道整備を進めることにより、集客効果を最大限に発現させるなどの相乗効果が期待されます。

【周辺整備の取組】

【うずまちテラス】

【道の駅「うずしお」リニューアル　イメージ】